

No. 306

2026.06.01

発行：奈良県平群町議会

平群町議会だより

Heguri Town Parliament Newsletter

H HEGURI

平群



竜田川のこいのぼり
(ゆめさとこども園)

五月晴れのもと

園庭にて
(はなさとこども園)

5月臨時会

P2 就任の挨拶
議長 山口昌亮 副議長 井戸太郎

P3 議決結果/質疑あれこれ/
監査委員の選任同意

P4 議会の構成/選挙結果

就任あいさつ



議長
山口 昌亮

令和8年第3回臨時会が5月8日開催され、議会の役員及び各委員会の選任がおこなわれました。
議長には山口昌亮議員が、副議長には井戸太郎議員がそれぞれ選挙で選ばれました。
(議会構成、投票結果は4ページ)

去る5月8日の臨時会におきまして、議長に就任させて頂くことになりました。議長として果たさなければならぬ責務の重さに身の引き締まる思いです。

さて、4年前からのロシアによるウクライナ攻撃、今年2月末からのアメリカとイスラエルによるイラン攻撃と、世界情勢は大きく揺れ動いています。食糧、エネルギーを輸入に頼るわが国にとっては経済活動と国民の暮らし全般に多大な影響を及ぼしています。

この状況は数年前からの物価高騰をさらに激しくし、暮らしを直撃しています。このようなときこそ、町行政には、住民のみなさんの生業と暮らしを少しでも支える施策を実施することが求められます。

住民のみなさんの多様な意見を

行政に届ける議会をめざします

地方自治体における議会議員の役割は「町長の行政執行に対する監視機能」と、「住民のみなさんの多様な意見を行政に届け、住民の福祉増進につなげていくこと」です。

行政と議会がそれぞれの役割から住民のみなさんの暮らしを応援することが大事です。

そのためにも、議長として公正で民主的な議会運営に務めてまいります。住民のみなさまには、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

政策の種を植え、育て、花や実を創り出そう



副議長
井戸 太郎

爽やかな風が平群を包む季節になり、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る5月8日の臨時会におきまして、副議長に再び就任させていただきました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しております。

議会は、行政のチェック機能ではありますが、同時に、政策の提案もできます。平群が新しい時代の変化に対応できるように、積極的に政策を提案していく必要があると考えます。

人口減少問題、公共交通の問題、施設の老朽化、公共施設の修繕費、建設費の大幅な高騰、システムのセキュリティ強化など、課題は山積しております。そのためには、先進地を詳しく研究し、平群の地域性にあつたものは積極的に取り入れ、また、ハイテク技術導入など、それ以上のものを生み出していくことが必要と考えております。

また、今の平群町の状況では、ほしい花や実をすぐに簡単に買うことができません。平群町自らが、政策・町民の利益の種を植え、育て、花や実を創り出すことが必要です。その一端を担えるよう、議会もより一層成長していかなければならないと考えております。

皆様方のご協力とご指導をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

第3回臨時会 こんなことが決まりました

令和8年第3回臨時会が5月8日に開催されました。議案の審議内容とその結果を紹介します。

議決結果賛否一覽 ○賛成 ●反対 △退席 (議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します)

提出区分	議案名	議決結果	関順子	須藤啓二	岩崎真滋	長良俊一	山本隆史	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	井戸太郎	森田勝	馬本隆夫	山田仁樹
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて (平群町税条例の一部を改正する条例について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長は裁決に加わりません
	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度平群町一般会計補正予算(第8号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	監査委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	△	○	○	※	○	○	○	○

質疑あれこれ

第3回臨時会に上程された議案を紹介します。

専決処分・町税条例の一部改正

地方税法の一部改正(令和8年4月1日施行)に伴うもの。
① 軽自動車税関係 「軽自動車税(環境性能制)」の廃止により、「軽自動車税(種別割)」の名称が「軽自動車税」とされたことによる条文の字句の改定。
② 個人住民税関係 「住宅借入金等特別税額控除」改正に伴う、項ずれと課税特例の期間延長を定めるもの。
③ 固定資産税関係 改修特別特定建築物に係る課税標準の特例措置の「わがまち特例」の割合を定める規定が新設されたことに伴う既定の整備。

質問 軽自動車税の環境性能割が無くなることで、税収にどのような影響があるのか。

答弁 環境性能割の令和7年度の収入が約325万1千円で、その部分が減収になります。減収分は国の地方特例交付金で補填されます。

質問 地方税法の一部改正は幅広いものだが、今回は4月1日施行分だけで、その他は今後の改正となるのか。

答弁 今回以外に物価高騰に対応した給与所得の控除の引上げや、ふるさと納税制度の見直し等、様々な分野があるが、町条例に紐づいていないものもあります。施行期日が到来していない部分は改めて議案として上程させていただきます。

質問 固定資産税の「わがまち特例」。本町に事例はあるのか。

答弁 わがまち特例は、地域決定型地方税制特例措置という事で、地域の実情に対応した政策を展開できるという観点より、平成24年度より導入された特例措置で、本町でも太陽光発電や水力発電を該当項目としてあげていますが、事例はありません。

専決処分・令和7年度一般会計補正予算(8号)

清掃センター浄化槽整備工事費1200万円を繰越明許費に追加するもの。

質問 清掃センター浄化槽整備工事が年度内に出来なかった理由は。

答弁 年度末までの竣工で事足りるとの甘い認識から着手が遅れ、また、予想以上に関係機関との調整に時間を要したことなど、適切な執行管理が出来ていなかったことが原因であり、お詫びいたします。
 次ページへ続く

同意

監査委員に山本隆史議員を選任

議会選出の監査委員として、山本隆史議員の選任に同意しました。



議会の構成

議長	山口昌亮	副議長	井戸太郎
----	------	-----	------

名称	委員長	副委員長	委員				
常任委員会							
総務建設委員会	関 順子	植田いづみ	岩崎 真滋	長良 俊一	山田 仁樹	馬本 隆夫	
文教厚生委員会	稲月 敏子	須藤 啓二	山本 隆史	山口 昌亮	井戸 太郎	森田 勝	
特別委員会							
下水道事業特別委員会	森田 勝	長良 俊一	須藤 啓二	井戸 太郎	山田 仁樹	馬本 隆夫	
財政検討特別委員会	長良 俊一	山田 仁樹	山本 隆史	植田いづみ	山口 昌亮	馬本 隆夫	
議会改革特別委員会	岩崎 真滋	井戸 太郎	山本 隆史	稲月 敏子	山口 昌亮	森田 勝	
公共交通対策特別委員会	馬本 隆夫	関 順子	長良 俊一	稲月 敏子	植田いづみ	森田 勝	
新庁舎建設特別委員会	植田いづみ	山本 隆史	関 順子	須藤 啓二	岩崎 真滋	山口 昌亮	
議会運営委員会	山田 仁樹	岩崎 真滋	関 順子	須藤 啓二	稲月 敏子	井戸 太郎	
議会だより編集委員会	山田 仁樹	岩崎 真滋	関 順子	須藤 啓二	稲月 敏子	井戸 太郎	

議長選挙投票結果

投票総数	12 票
有効投票	12 票
山口昌亮	6 票
長良俊一	5 票
岩崎真滋	1 票
当選	山口昌亮

副議長選挙投票結果

投票総数	12 票
有効投票	12 票
井戸太郎	7 票
岩崎真滋	5 票
当選	井戸太郎

質問

令和7年度の決算見込みについて、財政危機改善計画に示されたシミュレーションでは単年度収支200万円の赤字。現時点での見込みは。

答弁

介護や国保への繰出金がまだ未定で確定ではないが、財政危機改善計画で見込んだ数字に近い決算になるかとみています。

国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の減免措置に係る軽減判

定所得の算定基準額を変更するもの。

- ・7割軽減：変更なし（43万円以下）
- ・5割軽減：30・5万円×被保険者数+43万円↓31万円×被保険者数+43万円
- ・2割軽減：56万円×被保険者数+43万円↓57万円×被保険者数+43万円

質問

今回の改定による軽減世帯数の変化の説明を。

答弁

5割軽減では、昨年度より8世帯増えて306世帯の見込み。2割軽減では、7世帯増えて337世帯の見込み。7割軽減は

変更はなく663世帯です。

質問

今の説明では、軽減世帯が総数で1300世帯を超える。今年度の加入世帯予測は2065世帯で、その63%が軽減世帯ということになり、それだけ国保加入世帯の所得が低いことを示している。にもかかわらず、被用者保険料に比べて国保税は高い。県内の実態の調査とともに、県に対して「問題あり」と会合等で意見をあげてほしい。

答弁

県下の状況は調査、確認をしていきます。

編集後記

第15回へぐり時代まつりが去る4月29日開催されました。時代まつりは、2010年、平成遷都1300年祭の記念事業として始まりました。

これまで多くの方々に参加頂いた実行委員会の協議の中、よりよい祭りとなる様、毎年新たな試みの基、進化してきました。そのおかげで、毎回、町内外からも多くの方々が集い、賑わいあふれる事業となっています。

これからも平群町の大きな祭典、名物のひとつとなって、多くの方々を訪れる催しとして、より活気あふれるまち・元気なまちとなることを願っています。

さて、議会だより編集委員会は5月8日の臨時議会で編集委員が改編され、私、山田が委員長となりました。

これからも全編集委員で協議を重ね、議会の議論や町の取組がよくわかる、住民の方々にとって興味を引く情報をより提供出来る議会だよりを目指します。

『見やすい・解りやすい・読みやすい』紙面を目指して、町の話は『見たい・知りたい』と思っていただけの内容を心掛け、取り組んで参ります。

山田 記



山口新議長と新編集委員